

女性の再チャレンジ支援プラン（概要）

平成17年12月26日
女性の再チャレンジ支援策検討会議

女性の意欲と能力が十分に活用できていない現状

- 女性就業希望者数：25～54歳で約264万人
- 第1子出産を機に約7割が離職。
- 高学歴の女性ほど再就業が進まず。
- 女性の起業希望者数：年間50～60万人台。

主な問題点

- 働きたいが何から始めたらよいかわからない
→子育て中にスキルアップや情報収集等が困難 等
- 働きたいが希望する仕事に就けない
→子育てしながらの求職活動等が困難
→企業の雇用ニーズと求職者の職業能力との間にミスマッチ
- 働き続けるのが難しい
→仕事と子育てとの両立が困難

平成18年度予算額 2,270百万円(平成17年度 1,372百万円)

1. 地域におけるネットワークの構築等による再チャレンジ支援

- 気軽に相談できる窓口の設置、支援機関のネットワーク化、支援におけるNPO活用等の推進を「モデル地域」を指定して実施
- 商店街振興組合等が取り組む空き店舗を活用した保育サービス施設等のコミュニティ施設を設置・運営する事業等に対し支援

3. 再就職支援

- 再就職希望者の登録、情報提供や再就職に向けた具体的取組計画の策定支援等を内容とする再就職希望者支援事業の実施等
- マザーズハローワーク(仮称)における子育て女性へのきめ細やかな支援サービスの実施
- 各種情報提供、セミナー開催、相談事業等による在宅就業者の再就職支援
- 育児中の求職者に配慮した公共職業訓練のコース時間の設定等
- 優れた研究者の出産・育児等による研究中断からの円滑な復帰を支援
- 経済界・労働界への働きかけ、好事例の顕彰・普及、求人年齢の緩和促進等の企業における取組の促進
- 中小企業での仕事と育児を両立するためベストプラクティスマニュアルを作成し普及を図る

<プラン実施に当たっての考え方>

- 本プラン及び「子ども・子育て応援プラン」双方における施策の緊密な関連付け
- 子育て中の女性の利用しやすさに配慮した施策の実施

2. 学習・能力開発支援

- 女性のキャリア形成を支援する学習相談、研修等のモデル事業の実施
- 国立女性教育会館における各種研修、調査研究、情報提供等の実施
- 専修学校における、再就職等を視野に入れた能力開発のための事業の実施
- 放送大学の受講を通じたキャリアアップの可能性を広報等

4. 起業支援

- 女性の起業支援専用サイト、メンター紹介サービス事業の実施や、子育て期にある女性の起業に対する助成
- 創業のための実践的能力や知識・ノウハウの習得を支援するセミナー等の開催
- 起業意欲のある女性等への融資

5. 国における総合的な情報提供・調査等

- インターネットを活用した支援情報ポータルサイトの構築
- 女性のライフプランニング支援や女性の再チャレンジ支援に関する調査の実施

安心して子育てしながら再チャレンジできる社会の実現

- 離職前のキャリアや離職中に磨いたスキルを生かした再就職の実現！
- 女性の意欲と能力の発揮により、企業や社会が活性化！
- 女性起業家による新規ビジネスの開拓！
- 地域におけるNPO等での再チャレンジが地域社会を活性化！



男女共同参画社会の形成を促進

少子化対策、次世代育成対策に貢献